

取組事例 05

妊婦用 2 次避難所の開設の取組  
(石川県健康福祉部少子化対策監室)

- ・ 妊婦とその家族のための 2 次避難所は石川県青少年総合研修センターに設置し、助産師会と連携して運営した。日中は助産師が常駐し、妊婦の心身のケア(健康管理、相談対応)を行った。
- ・ 設置場所については、妊婦が過ごせる部屋や助産師が待機できる部屋が確保でき、妊婦の利用しやすい大浴場や乳児を寝かせるための和室などを備えた、日頃から連携のあった県の指定管理施設を選んだ。
- ・ 妊産婦用品や乳幼児用品等の支援物資は別途準備し、離乳食は施設側がニーズに応じて調達した。
- ・ 入所するきょうだい児が増えてきた状況に応じて、きょうだい児に向けたプレイルームの設置を民間支援団体と連携して実施した。今後の自立を促すため、県と助産師会で密に連絡しながら適切な支援を行うとともに、避難者が地元の市町に戻る際には、県から母子保健担当部署に連絡し、状況の引き継ぎなどを行った。